

写

要 望 書

滋 賀 県 市 長 会

滋市第885号  
平成28年 9月21日

滋賀県知事  
三日月 大造 様

滋賀県市長会  
会長 富士谷 英 正



JR在来線（北陸本線および湖西線）の経営維持を  
前提とした北陸新幹線米原ルートの実現について

初秋の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び  
申し上げます。

平素は、都市行政各般の運営につきまして、格別なるご指導とご高  
配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県内のJR在来線（琵琶湖線、草津線、北陸本線および湖西  
線）、私鉄近江鉄道については、140万県民の基幹交通として現在  
にいたっており、さらなる利便性の向上が望まれているところです。

そのような中、北陸新幹線の敦賀・大阪間、また、リニア中央新幹  
線の東京・名古屋間と名古屋・大阪間の開業が予定をされていること  
から、近畿と北陸および東海の結節点である県内の各市町は、新たな  
国土軸の形成をもたらし、広域交流の起爆剤となる交通ネットワー  
クの構築に向けて大きな期待を寄せています。

一方で新幹線の開通に伴う並行在来線の取り扱いについては、非  
常に危惧しているところでもあり、関係自治体として看過できるも  
のではありません。いずれにしても、今回の北陸新幹線のルート如何  
によっては、人やものの流れが大きく変化し、地域経済や自治体経営  
に大きな影響がおよぶこととなり、湖北や湖西のみならず県全体の  
死活問題となることから、以下のとおり要望いたします。

- (1) 北陸新幹線の『米原ルート』の実現に向けた取組を進められ  
るよう、県が主導して国等へ積極的な働きかけを行っていただ  
きたい。なお、如何なるルート設定であっても、JR在来線  
（北陸本線および湖西線）については、地域住民の利便性向上  
を図る交通社会基盤として重要な役割を果たしていることから、従  
来どおりJR西日本による経営が堅持されるよう、県として最大限  
の努力をされたい。
- (2) 北陸新幹線の『米原ルート』は、関西、北陸、中部はもとよ  
り、地元滋賀県に更なる経済的な効果を及ぼし、広域的な経済  
発展に大きく寄与することから、地域の経済界と密接に連携  
した推進活動を行っていただきたい。